

「水先人を目指す人のために」

2. 伊勢三河湾水先区の特徴

全国には多くの水先区があり、地形、気象、船の種類、貨物の種類などそれぞれに特徴があります。ここでは、当会の担当する「伊勢三河湾」の特徴について紹介していきます。

2-1. 伊勢三河湾の概要

日本の中部地方、愛知県と三重県に囲まれた海域が、当会が水先業務を行っている「伊勢三河湾」です。愛知県の渥美半島の先端、伊良湖岬と、三重県の神島との間にある、「伊良湖水道」という狭い航路がその入口となっており、そこから知多半島と三重県で囲まれた北西側が「伊勢湾」、知多半島と渥美半島に囲まれた北東側が「三河湾」で、「伊勢三河湾」はこれらを合わせた言葉です。

「水先人を目指す人のために」



図 2.1 伊勢三河湾水先区の概要

(国土地理院電子地形図より作成)

2-2. 伊勢三河湾の港

(1) 名古屋港

当水先区の中心となる港で、水先業務対象船のうち 70%以上がここに入ります。名古屋市をはじめ、東海市、知多市、弥富市、飛鳥村など広範囲にわたる全国有数の大きな港で、2014 年までに、総取扱貨物量は 13 年連続、貿易黒字額 17 年連続日本一を記録しています。

名古屋港は自動車関連の貨物が多いのが大きな特徴です。新車の輸出だけでなく、多く

「水先人を目指す人のために」

の関係する機械部品がコンテナによって運ばれています。他にも、鉄鉱石や鉄鋼製品、発電所のための液化天然ガス（LNG）など様々な貨物が輸出入されています。

(2) 四日市港

当水先区では名古屋港に次いで業務量の多い港で、全体の約 12%の船舶が出入りします。巨大な石油化学コンビナートが特徴で、取扱い貨物も原油やそれに関連した石油化学製品が多数を占めています。

(3) 三河港

三河湾の東半分である渥美湾の北東奥に位置する港で、蒲郡市、豊橋市、田原市に主な岸壁があります。国内で製造された自動車の輸出や、外国車の輸入拠点となっているため、貨物の多くを自動車が占めているのが本港の特徴です。

(4) 衣浦港

三河湾の北側である知多湾最奥に位置し、半田市、武豊町、碧南市に囲まれた港です。特に碧南市には全国有数の規模をほこる火力発電所があるため、その燃料である石炭を運ぶ専用船が頻繁に入出港しています。他にも、とうもろこしなどの穀類や、紙の原料となる木材チップなど、輸入貨物が多いのが衣浦港の特徴です。

(5) その他

他にも当水先区には津港、松阪港、鳥羽港などがありますが、先に述べた 4 港に比べると、出入りする船の数はさほど多くありません。

「水先人を目指す人のために」

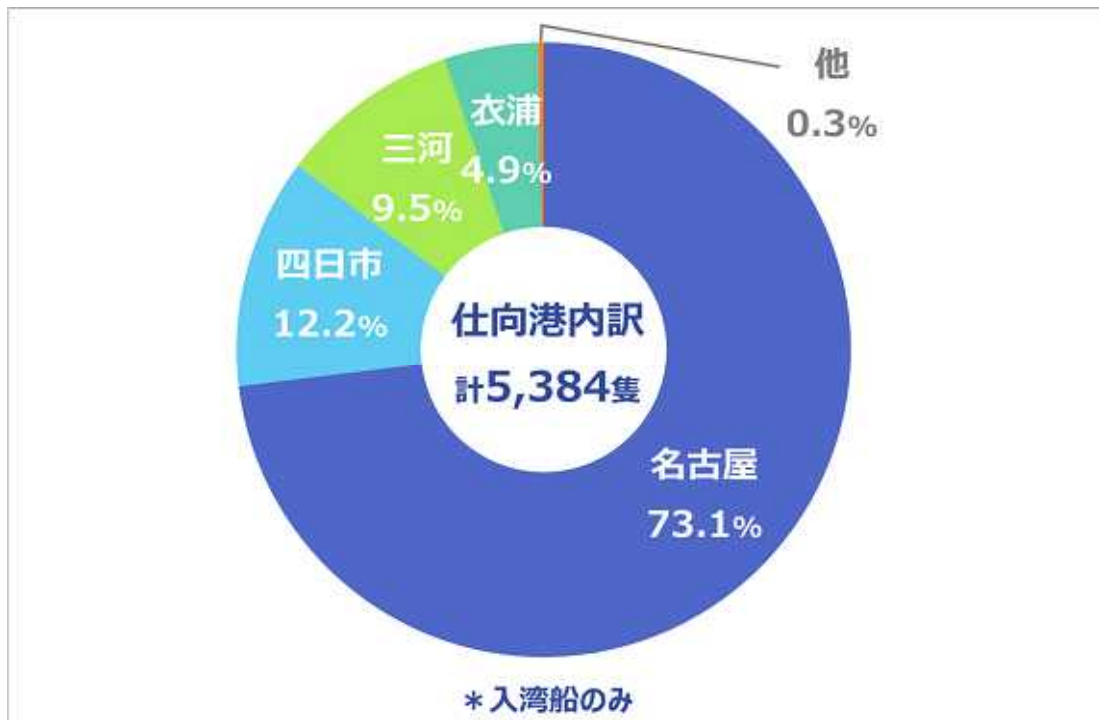


図 2.2 入湾船舶の仕向け港内訳（2014 年度）

2-3. 水先人が乗船する船舶

伊勢三河湾には様々な種類の船舶が入ってきますが、その全ての船舶に水先人が乗り込むわけではありません。その対象範囲は水先法によって定められており、水先区ごとに若干異なっています。伊勢三河湾水先区では、基本的に総トン数 1 万トン以上の船舶^{*1}が対象となっています。2014 年度の実績では、水先人が業務を行った船舶の総数は 14,673 隻^{*2}でした。

（注*1：特定の船舶や一定の要件を満たした船長が乗船するものを除く。）

（注*2：入湾、出湾、港内・湾内移動をそれぞれ 1 隻として集計した値。）

以下の図は 2014 年度に水先人がその業務を行った船舶の内訳をグラフにしたものです。当地区ではコンテナ船と自動車専用船の割合が高く、両者合わせて全体の 6 割以上の隻数を占めています。

「水先人を目指す人のために」

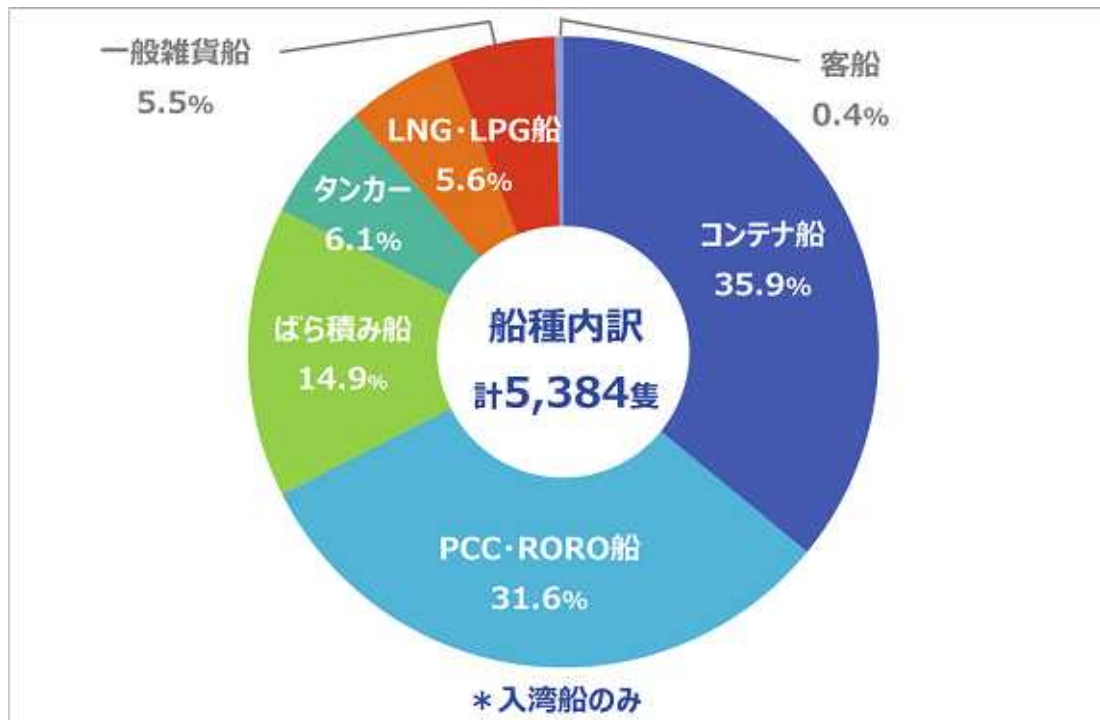


図 2.3 入湾船舶の船種内訳（2014 年度）

2-4. 伊勢三河湾水先区水先人会について

全国の各水先区には必ずひとつの水先人会が設置されており、水先人は自分の免許区域に応じた水先人会に所属します。平成 27 年 9 月末現在、当会には 109 名の水先人が所属しています（当ページ内「情報公開・会員名簿」から閲覧可能）。

当会は愛知県半田市と名古屋市に二つの事務所を設けています。ここでは事務員の方々に水先業務の引き受けや、水先料金の請求、必要書類の作成・提出といった事務作業を代行していただいています。水先人自身は、この事務所に常駐しているわけではなく、基本的に、業務のために必要な情報や書類等を入手・整理するための拠点として使用しています。

水先人会は法人組織ではあるものの、一般的な会社とは少し異なっています。水先人会の目的は営利ではなく、水先人の業務が円滑に実施されるように様々な補助をすることを目的と

「水先人を目指す人のために」

しています。したがって、所属する各水先人とは「雇用主 - 労働者」という一般的な関係ではありません。水先人は皆、「**個人事業主**」として自らの責任において業務を行っています。